

産後うつ病を発症した母親を支える配偶者への支援

～サポートモデルの開発～

－後向き研究－

当院の研究責任者 (所属)	小林 智美 (栃木医療センター看護部7階病棟)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	当該病棟看護師
本研究の目的	患児の入院中に母親が産後うつ病であることが分かり、母児分離が必要となった。育児の中心が母親から父親となり、父親への様々な支援の提供が開始された。本研究は父親への支援に焦点をあて、医療従事者が介入してきた父親への支援を振り返り、父親へのサポートの在り方をデータ分析する。分析結果から問題点を明らかにし、同様の症例に活用できるようにサポートモデルの作成を行っていくことを目的とする。
調査データ該当期間	2018年4月～2020年3月
研究の方法 (使用する試料等)	●研究参加者 患児・家族への支援に多く関わった当該病棟看護師 ●利用する情報 電子カルテは直接閲覧せず、関わりがあった職員を対象としたアンケート調査・インタビュー調査結果を利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	スタッフへのアンケート・インタビューで得られた情報は個人が特定されないようにする。また、本研究以外には使用しないことを記載する。データは、鍵のかかる場所で保管する。PCを使用する場合は、パスワードを用いる。データは、研究終了5年後破棄する。なお、所属する研究倫理委員会の承認を得た研究計画書に基づいて行う。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：小林 智美 (栃木医療センター看護部7階病棟)
備考	